

## 富山国際大学人文社会学部 教員研究業績一覧

1999年1月1日～2003年12月31日

### 凡例

一覧は各教員の自己申告にもとづき人文社会学部図書館委員会の紀要編集委員会で作成した。

「論文」は単行本・学術雑誌掲載の論文・研究ノート・報告などのほか、書店で販売する一般雑誌に掲載された専門性の高い論文および新聞に掲載された専門性の高い署名原稿を対象にした。

「著書」には単著・共著・編著・共編著・翻訳の区別を明記した。

「学会発表」は、学会はもちろん、学会と称していなくても実質が学会と同等の機関における研究発表を対象にした。

「その他」は、学術活動に対する表彰、国・自治体・公共機関における専門性の高い審議会・調査会等の委員、および学術上、特筆されるべき活動を対象にした。

### 安達哲夫

論文 「景気の現況 日本経済の明と暗」(富山国際大学人文社会学部、『10周年記念 エコノミスト・ジャーナリスト講演記録』、2001年3月)

### 李 順愛

論文 「金子文子・社会と向き合うということ」(『韓国・朝鮮と向き合った36人の日本人』 明石書店 2002年)

著書 『二世の起源と「戦後思想」』(単著 平凡社、2000年)

『女性学事典』(項目執筆 岩波書店、2002年)

『岩波小辞典現代韓国・朝鮮』(項目執筆 岩波書店、2002年)

白楽晴 『朝鮮半島統一論』(翻訳 図書出版クレイン、2001年)

### 板倉美奈子

論文 “Making the Philosophy of Non-military Peace an International Norm” by Japan Lawyers Naional Promoting Committee for HAP99(共著：項目分担執筆、1999年5月)

“World Peace by Peaceful Means – International law perspective” by International Law Group of the Law Section of the Association of Democratic Scientists in Japan(共著：項目分担執筆、2000年6月)

「木材認証・ラベリング制度 - 貿易を通じての『持続可能な発展』をめざす試みの一つとして」

(桐山・杉島・船尾編 『転換期の国際法の構造と機能 - 石本泰雄先生古稀記念論文集』 国際書院、2000年6月)

「GATT=WTOと農業 - 国際法学の視点から」(『法の科学』第31号、2001年9月)

著書 鴨野・中島・大山・佐藤編著 『法学レッスン〔第2版〕』(共著 成文堂、2000年4月) 国際法学会編

大川公一

- 論文 「保守と革新をめぐる政治意識のあり方」(調査)(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)  
「富山県知事選挙の考察」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
「富山県有権者の政治意識 2001 県内調査から」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年)
- 著書 『金沢市議会史』(共著)(金沢市議会、2001年)

大谷孝行

- 論文 「不完全恐怖症の人間学的考察」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
「森田正馬とアンリ・ベルクソン」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
「森田療法における自然観」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)  
「西田幾多郎の『行為的直観』——森田療法的アプローチからの分析」(富山国際大学『人文社会学部紀要』3巻、2003年3月)

大西一成

- 論文 「個人消費に明るい兆し」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.1、1999年9月)  
「民間設備投資に薄日」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.2、1999年10月)  
「明るさ増す生産動向」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.3、1999年10月)  
「雇用の悪化に歯止め」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.5、1999年11月)  
「堅調な住宅建設」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.6、1999年12月)  
「上昇傾向を見せる素材価格」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.7、1999年12月)  
「2000年度の日本経済見通し」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.8、2000年1月)  
「自律回復への兆し」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.9、2000年1月)  
「米国経済の課題」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.10、2000年2月)  
「下げ止まる民間設備投資」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.11、2000年2月)  
「急騰する国際商品市況」(『東洋証券(株)投資レーダー』No.12、2000年3月)  
「今後の日本経済 - 財政危機をのり超えて」(『富山国際大学 10周年記念エコノミスト・ジャーナリスト講演記録』2001年3月)  
「雇用が消費に影響、行政はビジョンを」(『朝日新聞』2002年3月18日)

大藪敏宏

- 論文 「現代の社会理論とヘーゲルの社会哲学 - アレント、ハーバーマス、コスロフスキとヘーゲル - 」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)  
シュネーデルバッハ「認識の認識」? 一つの認識論擁護」(共訳 「ヘーゲル哲学研究」5号、1999年12月)  
「ヘーゲルの社会哲学における偶然性の問題」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
「表象の偶然性と社会科学の論理 - ヘーゲル法哲学における法と道徳との衝突と二正面作戦 - 」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
「実定法の偶然性と法哲学 - ヘーゲルの実証法学論とハーバーマスの法制化論 - 」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「因果的決定論の科学史と近代心理学の成立 P.ジャネのハーバード講演と精神分析理論の形成」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「市民革命の理念と個体的自由の病理 テロ・スパイラルと法の哲学」(『法政哲学会報』第21号、2003年6月)

学会発表「関係の实在性をめぐる再考察 - 久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』の射程 -」(ヘーゲル研究会 法政大学 1999年6月26日)

「市民革命の理念と個体的自由の病理 - ヘーゲル法哲学の問題構成 -」(法政哲学会 法政大学 2002年6月29日)

#### 岡倉徹志

- 論文 「富山“コーラン 引き裂き事件の波紋」(『世界』、2001年8月号)  
 「ピンラディン伝 プレイボーイがカリスマになるまで」(『文藝春秋』2001年10月緊急増刊号)  
 「キリスト教世界に反省促す一冊」(ロバート・ヴァン・ド・ヴァイア『イスラムはなぜアメリカを憎むのか』の解説、光文社)  
 「“原理主義のメッカ”と“絶対王制”の板挟みでサウジは噴火寸前」(『サピオ』2001年12月19日号)
- 著書 『サウジアラビア現代史』(文春新書)(単著 文藝春秋社、2000年)  
 『改訂版イスラム世界のこれが常識』(単著 PHP 研究所、2001年)  
 『イスラム原理主義』(単著 明石書店、2001年)  
 『イスラム世界がよくわかる本』(単著 PHP 文庫、2003年)

#### 彼谷 環

- 論文 「ドイツにおける『女性のための割当制』 政党への割当制導入をめぐる議論の考察」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
 「政治的意思決定における男女平等と政党の公共性」(森英樹編『市民的公共圏形成の可能性 比較憲法的総合的研究』日本評論社、2003年)  
 「武生市男女共同参画推進条例と男女平等オンブッド」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)  
 「イラク対応に疑問」(『北日本新聞』2003年5月3日)
- 著書 『ドイツの最新憲法判例』(分担執筆、有信堂、1999年)  
 『いま日本の法は〔第3版〕』(項目執筆、日本評論社、2001年)
- その他 「男女共同参画社会基本法制に関する憲法論的研究」(2001年度、富山第一銀行奨学財団報告書)  
 「地方公共団体の男女共同参画推進条例の成立状況と権利救済制度」(2003年度、富山県高等教育振興財団報告書)

#### Rickford Grant

- 論文 Structural Sources of Absurdity in Wolfgang Hildesheimer's "The Light Gray Spring Coat." The Journal of Toyama University of International Studies (1999).  
 Student Attitudes Toward English-Only Classroom Policies. The ORTESOL Journal\_(1999).  
 Through the Eyes of Saints: Robertson Davies' "Fifth Business." The Journal of Toyama

University of International Studies (2000).

A Slightly Heretic Approach to Teaching Fiction in the EFL Setting. Guidelines (2000).

Logic as a Content Course in the EFL Curriculum. The Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies (2001).

Michael Ondaatje's The English Patient: Humanity and Savagery at the Crossroads. The Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies (2002).

A Long Time in Coming... Especially to Japan. Nyckel Notes (2003).

後藤 智

著書 『現代自治体再編論 - 市町村合併を超えて』(共著 日本評論社、2002年)

坂本 博

論文 «Введение в «Историю Русской Общественной Мысли» и тактика Г. В. Плеханова» (『ロシア社会思想史』序文とプレハーノフの戦術) Плехановские чтения, 29-30 мая 1999 г., Тезисы докладов (第5回プレハーノフ研究大会、1999年5月29-30日、報告集), С.-Пб., 1999.

«О преподавании следующему поколению истории «сибирского интернирования» японских военнопленных»(『シベリア抑留の歴史を次世代にどう教えるか』), «Проблемы исторического образования в Восточной Азии; Диалог преподавателей и ученых» (『東アジアにおける歴史教育の諸問題; 教員と学者の対話』), Владивосток, 1999. (ウラジオストク、1999年)

«К вопросу становления взгляда Г. В. Плеханова на фискальное происхождение общины»(『農村共同体が国庫に基づいて形成されたとするプレハーノフの見解の成立における問題について』) Плехановские чтения, 30 мая-1 июня 2002 г., Тезисы докладов(第6回プレハーノフ研究大会、2002年5月30日-6月1日、報告集), С.-Пб., 2002.

««Самое значительное из написанных Вами произведений» Письма издательства «Мир» к Г. В. Плеханову. 1909-1917 гг.»(『あなたが書かれた著作の中で最も重要なもの』 「ミール」出版社のプレハーノフ宛手紙 1909-1917年), «Исторический Архив» №3, 2000 г. (『歴史文献』2000年第3号)

「佐々木照央著『ラヴローフのナロードニキ主義歴史哲学 虚無を超えて』、『ロシア史研究』№.70、2002年

佐藤悦夫

論文 「ホンデュラスの観光について」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)

「古代マヤ文明における都市の生態学的研究: GISを利用した遺跡の分析」(『1999年度富山第一銀行奨学財団助成金報告書』、2000年3月)

「2000-2001年科学研究費研究成果報告書: 4章、遺物分析」(『2000-2001年科学研究費研究成果報告書、研究課題、メソアメリカにおける古代都市国家の起源: テオティワカン、月のピラミッ

ドに表されるイデオロギーと政治形態』研究代表者 杉山三郎愛知県立大学教授、 2002年3月)

「テオティワカンの土器についての一考察(1): パトラチケ期からミカオトリ期までの土器」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

López, Sandra L., Etsuo Sato, Malgorzata Daszkiewicz, Ewa Bobryk, and Gerwulf Schneider  
“Análisis Preliminar de la Cerámica de la Pirámide de la Luna en Teotihuacan 2000-2001”

(Informe que presentan al Instituto Nacional de Antropología e Historia México 2002年6月)

学会発表 Sato, Etsuo and Sandra L. López “Approaching Teotihuacan Pottery from the Pyramid on Moon through Archeometry” (The 66th Society for American Archaeology Meeting in New Orleans, USA, April 2001)

López, Sandra L. and Etsuo Sato “Análisis Cerámico del Proyecto Pirámide La Luna” (XXVI Mesa Redonda de Sociedad Mexicana de Antropología en Zacatecas, México, Agosto 2001)

「月のピラミッド出土の土器について」(古代アメリカ学会第8回大会発表、早稲田大学、2003年11月)

#### 佐藤有史

論文 「アダム・スミスと真正手形学説」(『三田学会雑誌』第92巻第1号, 1999年4月)

「トマス・ロバート・マルサスの貨幣理論」(『三田学会雑誌』第94巻第3号, 2001年10月)

「マルサス貨幣理論の再検討」(『マルサス学会年報』第11号, 2001年12月)

「貨幣と穀物 マルサスの経済学を再考する」(永井義雄・柳田芳伸・中澤信彦編『マルサス理論の歴史的形成』昭和堂, 2003年)

「古典派貨幣理論 古い解釈と新しい解釈」(『経済学史学会年報』第44号, 2003年11月)

学会発表 「現金支払再開の政治学」(経済学史学会, 熊本学園大学, 1999年11月)

「マルサスの貨幣理論」(マルサス学会, 関東学院大学, 2001年5月)

「貨幣と穀物 マルサスの経済学を再考する」(経済学史学会, 立教大学, 2002年9月)

著書 『現金支払再開の政治学』(単著 *Study Series* No. 41, 一橋大学社会科学古典資料センター, 1999年)

『リカード全集 第XI巻』(共訳 雄松堂, 1999年)

『経済思想にみる貨幣と金融』(共編著 三嶺書房, 2002年)

『ルソーの経済哲学』(B. フレーデン著 共訳 日本経済評論社, 2003年)

#### Richard Stone

論文 Distinctives of Business/Technical Writing. Toyama University of International Studies  
Memoirs (Kiyo). March, 2000.

Evaluating and Modifying Language Assessment Scales. Toyama University of International\_ Studies Memoirs (Kiyo). March, 2001.

Perspectives of Administrators and Consultants at Institutions in the US on Recruiting College Students in an Increasingly Competitive Market. Journal of the Faculty of Humanities and Social Science of Toyama University of International Studies. March, 2002.

Poems from Japan. Journal of the Faculty of Humanities and Social Science of Toyama

University of International Studies, March, 2003.

著書 Developing Online Documentation: a textbook for Technical Communications (TECO) 71. ¥  
January, 1999.

#### 大門信吾

- 論文 「男子体操競技における加点に関する採点規則の改正点と最近の演技動向 ゆか、つり輪、平行棒  
についてー」(『北陸体育学会紀要』第36号、2000年3月)  
「男子体操競技における加点に関する採点規則の改正点と最近の演技動向 あん馬、鉄棒について  
-」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1号、2001年3月)

#### 高木年子

- 著書 『英語学テキスト *English Linguistics*』(おおいずみ印刷 2000年)  
『総合英語テキスト *College English*』(おおいずみ印刷 2000年)  
その他 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール運営指導委員 (富山南高校)

#### 高成玲子

- 論文 「ブラウネル『日本の心』(四)」(『富山女子短期大学紀要』第34号、1999年3月)  
「ブラウネル『日本の心』(五)」(『富山女子短期大学紀要』第34号、1999年3月)  
「ブラウネル『日本の心』(六)」(『富山女子短期大学紀要』第35号、2000年3月)  
「富山のお雇い外国人 3」(『富山女子短期大学紀要』第35号、2000年3月)  
「ラフカディオ・ハーンと日本美術」(『ロータス』第21号、2001年3月)  
「富山のお雇い外国人とヘルン文庫」(『近代史研究』第24号、2001年3月)  
「レフカダ紀行」(『へるん』第38号、2001年6月)  
「南日恒太郎小伝序論」(『東日本英学史研究』創刊号、2002年3月)  
「ヘルン文庫随想」(『とやま文学』第21号、2003年3月)  
「ラフカディオ・ハーンと日本美術 2」(『ロータス』第23号、2003年3月)  
「ヘルン文庫書き込み調査準備調査報告」(『へるん倶楽部』創刊号、2003年6月)  
学会発表 「ロンドンのブラウネル」(第39回日本英学史学会全国大会、2002年10月)

#### 滝沢荘一

- 論文 「20大ニュースから占う21世紀の世界」(『聖教新聞』2000年2月8日)  
「ブッシュ新政権発足と米中関係」(『聖教新聞』2001年2月6日)  
「米一極支配の終わりの始まり」(『北日本新聞』2003年3月21日)  
「バンドラの箱開けたイラク戦争」(『北日本新聞』2003年5月22日)  
「同時テロから2年に思う」(『北日本新聞』2003年9月11日)

#### 田中道治

- 論文 「能動・受動の対立と他動性」(『愛媛女子短期大学紀要』第11号、1999年3月)  
「非情受身とその類似機能表現」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)  
「初級日本語教育と待遇表現」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

「中国の大学における日本語教育教材作成の試み」(共著 『日本語・日本文化研究』第10号、2003年3月)

その他 「日本語教育のためのWeb教材」(助成研究報告書、財団法人言語教育振興財団、2003年7月)

谷口 侑

著書 『甦るニコライ二世 中断されたロシア近代化への道』(翻訳 藤原書店 2001年)

学会発表 「非定型の多文化・多言語国家スイス」(国際フランス語記者連合UPFにおける口頭論評 2002年9月12日 スイス・ジュネーブ)

「第8回立山倶楽部 富山を世界の舞台に」における口頭発表「富山県のイメージは3つの水である」(2002年10月15日 富山市)

湯 麗敏

論文 「周作人の日本文学の翻訳について」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)

「日本文化に対する周作人の受け止め方について」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「周作人と中国新文学」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

著書 『二一八才楽しい中国語会話』(共著 白帝社、2003年)

鶴山博之

論文 「大学生の運動生活に関する研究」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「競技意欲と満足度から見た陸上競技部のリーダーシップに関する研究」(『北陸体育学会紀要』第36号、2000年3月)

「組織変数から見た運動部の組織特性とマネジメントに関する研究」(共著『北陸体育学会紀要』第37号、2001年3月)

「競技的スポーツ集団におけるリーダーシップの固有性・個別性に関する研究」(共著『体育・スポーツ経営学研究』第16巻、2001年3月)

著書 『スポーツ経営学』(共著 大修館書店、2000年)

学会発表 「運動部の組織特性と組織変数に関する研究」(日本体育学会 奈良女子大学 2000年10月7日)

その他 富山県スポーツ医・科学的トレーニング専門委員会委員 (1995年～現在)

富山県スポーツ指導者養成システム推進会議委員 (2003年)

長 弘毅

論文 「インド民話の世界 《語り場》を訪ねて」上・下(カワイ音楽教育研究会『あんさんぶる』5・6月号、1999年5月、6月)

「天竺・印度そしてイン」(富山社交倶楽部『社交』No.183、2002年)

「非暴力と文明」(翻訳 ジャイネンドラ・クマール (社)日印サルボダヤ交友会『サルボダヤ』Vol 43 - 12、2003年)

著書 『東アジアの神話』(共著 ポプラ社、2000年)

『まいごヤギとライオン』(単著 鈴木書店、2000年)

『語り継ぐ人びと\*インドの民話』(単著 福音館書店、2003年)

永井広克

論文 「売薬の消費調査」(『富山女子短期大学紀要』第35輯、2000年3月)

「保育士の仕事と家庭」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「保育士の思い」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

著書 『男女共生の社会学』(分担執筆 学文社、2003年)

その他 男女共同参画に関する中学校副読本 編集委員  
富山県男女共同参画・ボランティア課 2003年

西田達昭

論文 「アジア経済危機の理論・歴史・現状」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)

「マルチメディア時代の情報通信産業」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

「転換期の日本経済 プラザ合意・バブル経済・グローバリゼーション」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

「『拡大されたユニバーサル・サービス』を考える」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

「郵政事業の民営化を考える」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)

伴 浩美

論文 「歴代アメリカ大統領のスピーチの比較」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)

“Statistical Characteristics of Prepositions in English Newspapers of Japan, the United States and the United Kingdom” (共著筆頭 *Proceedings of the 3rd International Conference on Engineering Design and Automation*, Aug. 1-4, 1999, Vancouver, Canada)

“Identification of the Genre of English Writings by Fuzzy Reasoning” (共著筆頭 *Proceedings of the International Conference on Artificial Intelligence and Soft Computing*, Aug. 9-12, 1999, Honolulu, USA)

“Relative Difficulty of Various English Writings by Fuzzy Inference and Its Application to Selecting Teaching Materials” (共著 *Proceedings of the Second Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems*, Oct. 30-31, 1999, Kanazawa, Japan)

「初期・現代のアメリカ大統領就任演説の計量的解析と社会情勢との関係」(共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』Vol.99, No.581、2000年1月)

「大統領スピーチから見た政治家の言語的遷移」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)

“Metrical Characteristics of English Textbooks in Japan, Korea, the United Kingdom and the United States” (共著 *Proceedings of the 4th International Conference on Engineering Design and Automation*, Jul. 30-Aug. 2, 2000, Orlando, USA)

“Estimation of U.S. Presidential Election Using Linguistical Analysis of Inaugural Addresses” (共著筆頭 *Proceedings of the 3rd Czech-Japan Seminar on Data Analysis and Decision Making under Uncertainty*, Oct. 30-31, 2000, Osaka, Japan)

「英文コラムの計量的特徴と他ジャンルとの比較」(共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』Vol.100, No.420、2000年11月)

“Linguistical Analysis of American Presidents' Inaugural Addresses” (共著筆頭 *Proceedings of the Third Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems*, Dec. 20-22, 2000, Hong Kong, China)

「Regional Difference of Word Variation in English Textbooks between English-Speaking

- Countries (U.S.A. & U.K.) and Non-English Speaking Countries (Korea & Japan)」（共著 『金沢経済大学経済研究所年報』第21号、2001年3月）
- 「シンガポール英字新聞の計量言語的変遷」（『富山国際大学人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月）
- “Metrical Comparison of English Columns with Other Genres”（共著筆頭 *Proceedings of the 5<sup>th</sup> International Conference on Engineering Design and Automation*, Aug. 5-8, 2001, Las Vegas, USA）
- 「シンガポール英字新聞における計量言語的要因の変遷」（共著筆頭 『日本感性工学会誌感性工学研究論文集』第1巻2号、2001年8月）
- 「シンガポール英字新聞と他ジャーナリズムとの解析比較」（共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』Vol.101, No.506、2001年12月）
- 「東アジアと米英の英語教科書の計量的解析比較」（『富山国際大学人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月）
- “Metrical Comparison of Singapore English Newspapers and Other English Journalism”（共著筆頭 *Proceedings of the 6th International Conference on Engineering Design and Automation*, Aug. 4-7, 2002, Maui, USA）
- 「英語コミュニケーション能力評価テストの計量的解析」（共著筆頭 『電子情報通信学会技術研究報告』Vol.102, No.412、2002年10月）
- “Linguistical Characteristics of Eliyahu M. Goldratt's "The Goal"”（共著筆頭 *Proceedings of the Fourth Asia-Pacific Conference on Industrial Engineering and Management Systems*, Dec. 18-20, 2002, Taipei, Taiwan）
- 「新教科「情報」の特徴分析」（富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月）
- “Metrical Comparison of English Textbooks in East Asian Countries, the U.S.A. and U.K.”（共著筆頭 *Proceedings of the 4th International Symposium on Advanced Intelligent Systems*, Sep. 25-28, 2003, Jeju, Korea）
- 学会発表「イギリス国語教科書の計量言語学的解析結果とグレードの導出」（日本OR学会「ORとファジィ」研究集会 1999年1月）
- 「英国小学校教科書と日本の中高における英語教科書の計量的比較」（1999年電子情報通信学会総合大会 1999年3月）
- 「新聞の各ジャンルにおける前置詞の用法と計量的解析」（第15回ファジィシステムシンポジウム 1999年6月）
- 「日米英韓の英字新聞における人称代名詞の計量と特徴」（第8回日本ファジィ学会北信越支部シンポジウム 1999年9月）
- 「米英と日韓の英語教科書における単語種から求めた難易度」（平成11年度電気関係学会北陸支部連合大会 1999年10月）
- 「主成分分析による日米英韓の英語教科書の因子分析」（第9回インテリジェント・システム・シンポジウム 1999年10月）
- 「歴代アメリカ大統領のスピーチからみた米語の計量的遷移」（第1回日本感性工学会大会 1999年11月）
- 「初期・現在の米国大統領スピーチに見られる特徴」（日本ファジィ学会北信越支部研究会 2000年

2月)

- 「米英と日韓の英語教科書の単語種における地域差」(日本OR学会「システムの最適化とOR」研究部会第15回研究集会 2000年3月)
- 「日米英韓英字新聞の助動詞頻度による特徴抽出」(平成12年電気学会全国大会 2000年3月)
- 「アメリカ大統領候補のスピーチの計量的比較」(第9回日本ファジィ学会北信越支部シンポジウム 2000年8月)
- 「大統領候補者スピーチの文体解析結果による大統領戦予測」(第2回日本感性工学会大会 2000年9月)
- 「計量分析による英文コラムの特徴」(平成12年度電気関係学会北陸支部連合大会 2000年9月)
- 「シンガポール英字新聞における主な計量言語的変遷要因の抽出」(日本感性工学会第6回「あいまいと感性研究部会」研究発表会 2001年3月)
- 「シンガポール英語の計量言語学的特徴の抽出」(平成13年電気学会全国大会 2001年3月)
- 「日本・中国・韓国の英語教科書の計量的解析とアジア圏英語の特徴」(第17回ファジィシステムシンポジウム 2001年9月)
- 「極東アジア4ヶ国における英語教科書の分析」(第3回日本感性工学会大会 2001年9月)
- 「シンガポール英字新聞における人称代名詞と助動詞の計量的分析」(日本ファジィ学会北信越支部研究会 2001年12月)
- 「シンガポール英語コミックにおける会話言語の計量的特徴」(平成14年電気学会全国大会 2002年3月)
- 「制約条件の理論(TOC) "The Goal" における言語学的特徴」(平成14年度日本設備管理学会春季研究発表大会 2002年6月)
- 「負荷軽減を目的とした福祉入浴システムの開発」(平成14年度日本設備管理学会春季研究発表大会 2002年6月)
- 「経営学分野英文資料の言語学的特徴抽出」(第18回ファジィシステムシンポジウム 2002年8月)
- 「日本における英語コミュニケーション能力評価テストの計量的特徴」(第4回日本感性工学会大会 2002年9月)
- 「中学校におけるHTML授業の試み」(日本教育工学会第18回大会 2002年11月)
- 「TV News の計量的解析」(日本ファジィ学会関東支部・北信越支部第19回ファジィ・ワークショップ 2002年11月)
- 「経営学専門書の計量的解析と教育への応用」(平成14年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2002年12月)
- 「既存の浴槽を利用した介護用入浴システム」(平成14年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2002年12月)
- 「テクニカル・コミュニケーション能力評価テストの計量的解析」(平成15年電気学会全国大会 2003年3月)
- 「プロジェクトマネジメント分野英文資料の計量的解析とその特徴」(平成15年度日本設備管理学会 春季研究発表大会 2003年6月)
- 「経営分野英文資料の計量言語学的特徴」(第19回ファジィシステムシンポジウム 2003年9月)
- 「代表的なアメリカ文学作品の計量言語学的文体解析」(第5回日本感性工学会大会 2003年10月)

- 「経営学英文資料の計量言語学的分析」(2003年情報論的学習理論ワークショップ 2003年11月)  
「経営学英文専門書の計量的解析」(平成15年度日本設備管理学会秋季研究発表大会 2003年11月)

樋口康彦

- 学会発表「達成行動を阻害する要因に関する考察(1) 中学生を被験者として」(日本応用心理学会 流通科学大会 2003年9月5日)

福島清紀

- 論文 「ライブニッツにおける『意識』概念の形成」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)  
「スピノザの『自由』概念」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
「スピノザの『自然権』」(『富山国際大学人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
「『人間知性新論』再考への一視点 コスト訳の介在」(工作舎刊『ライブニッツ著作集第5巻(第二刷)』所収、2001年6月)  
「ライブニッツ『人間知性新論』再考」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)  
「スピノザ『神学政治論』の歴史的背景」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)  
著書 『ライブニッツ著作集第5巻(第二刷)』(共訳 工作舎、2001年6月)

福島美枝子

- 論文 Fukushima, M. 2000. Approaches to Supervisory Work: A Review of the Literature. *Journal of Toyama University of International Studies* Vol. 10, pp. 173-181.  
Fukushima, M. 2001. Supervisory Work with In-Service Teachers: Case Studies on Some Aspects of Teacher-Outsider Communication. *The TUINS Journal of the Faculty of Humanities and Social Science* Vol. 1, pp. 175-193.  
Fukushima, M. 2003. Primary English Teaching: A New Development in Japan. *The TUINS Journal of the Faculty of Humanities and Social Science* Vol. 3, pp. 133-140.

藤野 豊

- 論文 「部落問題における婚姻忌避」(『現代思想』第27巻第2号、1999年2月)  
「ファシズム体制下の立山連峰・黒部峡谷」(『富山国際大学紀要』第9巻、1999年3月)  
「植民地朝鮮におけるハンセン病政策」(『植民地社会事業関係資料集 朝鮮編』別冊、近現代資料刊行会、1999年)  
「日本ファシズムと国立公園」(『民衆史研究』第58号、1999年11月)  
「ハンセン病患者排除の構造」(『飛礫』第25号、1999年12月)  
「1938年 富山県の廃娼」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
「横浜市における建国体操の展開」(『市史研究よこはま』第12号、2000年3月)  
「『三国人』はどう使われてきたか」(『部落解放』第471号、2000年7月)  
「国民精神総動員運動と結婚改善運動」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)

- 「『ケガレ=差別の本質』論の問題性」(『部落解放』第484号、2001年4月)
- 「判決を読んで」(『熊本日日新聞』2001年5月12日)
- 「ハンセン病訴訟判決に寄せて」(『南日本新聞』2001年5月12日)
- 「ハンセン病国家賠償訴訟の判決を読んで」(『東京新聞』2001年5月15日夕刊)
- 「ハンセン病訴訟控訴断念に寄せて」(『南日本新聞』2001年5月24日)
- 「問われる国策としての隔離」(『世界』第691号、2001年8月)
- 「廃娼と存娼 その相克と協調」(『大正デモクラシー・天皇制・キリスト教』、新教出版社、2001年)
- 「日本ファシズムと医療」(『15年戦争と日本の医学医療研究会誌』第2巻第1号、2001年10月)
- 「ハンセン病患者への人権侵害の歴史」(『自由と正義』第52巻第10号、2001年10月)
- 「ハンセン病訴訟和解合意 名誉回復、大きな課題」(『南日本新聞』2001年12月28日)
- 「ハンセン病と近現代日本」(『ハンセン病 排除・差別・隔離の歴史』、岩波書店、2001年)
- 「『法の執行』が生んだ『恐怖宣伝』 ハンセン病患者の近現代」(『部落解放』第495号、2002年1月)
- 「『無医村』問題の登場」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)
- 「アイヌ民族への医療・衛生調査の差別性 現代に生きる社会ダーウィニズム」(『飛礫』第35号、2002年7月)
- 「ハンセン病患者」(『日本における差別と人権』、解放出版社、2002年)
- 「水平社未組織県における部落解放運動史 - 神奈川県・富山県の場合」(『近代日本と水平社』、解放出版社、2002年)
- 「ハンセン病 人権侵害との闘い」(『ブリタニカ国際年鑑』2002年版、ブリタニカ・ジャパン、2002年)
- 「近現代のハンセン病政策」(『身同』第22号、2002年)
- 「動きだしたハンセン病検証会議」(『新潟日報』2002年11月22日)
- 「奄美のハンセン病問題」(『飛礫』第37号、2003年1月)
- 「『滅び行くアイヌ』像の復活」(『飛礫』第38号、2003年4月)
- 「ハンセン病 進まぬ検証」(『読売新聞』2003年6月6日)
- 「沖縄の買売春」(『飛礫』第39号、2003年7月)
- 「ハンセン病隔離の歴史」(『聖教新聞』2003年9月4日)
- 「ハンセン病隔離強化の真相とは何か」(『世界』第718号、2003年9月)
- 「『村起こし』としての買売春 富山県利賀村の『トルコ風呂』計画」(『飛礫』第40号、2003年10月)
- 著書 『九〇年目の真実 ハンセン病患者隔離政策の責任』(共著、かもがわ出版、1999年)
- 『強制された健康 日本ファシズム下の生命と身体』(単著 吉川弘文館、2000年)
- 『知っていますか? ハンセン病と人権』第2版(共著 解放出版社、2000年)
- 『「いのち」の近代史 「民族浄化」の名のもとに迫害されたハンセン病患者』(単著 かもがわ出版、2001年)
- 『被差別部落ゼロ? 近代富山の部落問題』(単著 桂書房、2001年)
- 『性の国家管理 買売春の近現代史』(単著 不二出版、2001年)

- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成 戦前編』第1巻～第8巻(編著 不二出版、2002年)
- 『「水平社伝説」からの解放』(共著 かもがわ出版、2002年)
- 『長島重三郎日記 大正11年～大正12年』(共編著、横浜市民局人権部人権課、2003年)
- 『厚生省の誕生 医療はファシズムをいかに推進したかー』(単著 かもがわ出版、2003年)
- 『近現代日本ハンセン病問題資料集成 戦後編』第1巻～第6巻(編著 不二出版、2003年)
- 『ハンセン病をどう教えるか』(共著 解放出版社、2003年)
- 学会報告「日本ファシズムと医療」(15年戦争と日本の医学医療研究会第5回研究会 名古屋大学医学部  
2001年6月16日)
- その他 2001年 『「いのち」の近代史』に対して、日本ジャーナリスト会議より JCJ 特別賞受賞  
2001年～ 大山町男女共同参画推進員連絡会会長(富山県大山町設置)  
2001年～ おおやま男女平等推進審議会会長(富山県大山町設置)  
2002年～ ハンセン病問題に関する検証会議委員(厚生労働省設置 日弁連法務研究財団委託)  
2002年～ ハンセン病問題に関する検討会委員(厚生労働省設置 日弁連法務研究財団委託)

James W. Porcaro

- 論文 Recitation in an English language program. *The Language Teacher*, 23 (8), 1999.
- Japanese social and cultural awareness: A bridge to global understanding. *The International Journal of Innovative Higher Education*, 13, 1999.
- The value of translation in language class. *Research Bulletin of the Hiroshima Institute of Technology*, 33, 1999.
- Using advice letters for family counseling role-plays. *Modern English Teacher*, 9 (1), 2000.
- Poetry and literacy skills in the EFL class. *Journal of Toyama University of International Studies*, 10, 2000.
- Using magazine articles on science for EST instruction. *TESOL Matters*, 10 (2), 2000.
- Reliability and validity in a TUINS English entrance examination. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 1, 2001.
- Integrating authentic materials and language skills in EST instruction. *English Teaching Forum*, 39 (2), 2001.
- Newspaper cartoons: Creating informed citizens and integrating language skills. *Modern English Teacher*, 10 (2), 2001.
- Role-play scriptwriting and integration of language skills. *The Language Teacher*, 25 (5), 2001.
- Real data to stimulate communication. *Guidelines*, 23 (1), 2001.
- Inventing Japanese students. *The Language Teacher*, 25 (9), 2001.
- A rationale for L1-to-L2 literary translation in college EFL instruction. *JALT Journal*, 23 (2), 2001.
- The role of film in L1-to-L2 literary translation by EFL students. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 2, 2002.
- Taking risks: Cloze reading exercises and the process of scientific discourse. *Toyama University Bulletin of Computer and Networking Services*, 6 (1), 2002.

- Language exchange activities by e-mail with key partners within a class. *Modern English Teacher*, 11 (2), 2002.
- Summertime things Japanese. *The Language Teacher*, 26 (7), 2002.
- Interactive icebreaker activities with follow-up functions. *TESOL Journal*, 11 (2), 2002.
- Stocking-fillers for teachers: Some December lessons. *The Language Teacher*, 26 (11), 2002.
- "Free Pass" universities: A new opportunity for achievement? *On Cue*, 10 (1), 2002.
- Translating literature and learning culture. *Academic Exchange Quarterly*, 6 (4), 2002.
- Assessment in an intensive EFL program. *Journal of the Faculty of Humanities and Social Sciences, Toyama University of International Studies*, 3, 2003.
- Using Data on Japan from the Web. *Calling Japan*, 11 (1), 2003.
- "Housing" construction: Developing materials for oral communication. *Between the Keys*, 11 (2), 2003.
- Students' storytelling: A listening comprehension lesson. *Guidelines*, 25 (1), 2003.
- Bingo! (for teaching young learners). *English teaching professional*, 29, 2003.
- Integrated holistic approach to poetry instruction. *Academic Exchange Quarterly*, 7 (3), 2003.

- 学会発表 富山英語指導法勉強会、2002年4月20日、"A student-centered, interactive communication activity"
- 富山英語指導法勉強会、2003年9月13日、"Summertime things Japanese and integrated practice of language skills"
- Language Institute of Japan International Summer Workshop for Teachers of English, 2003, August 7. "Summertime things Japanese and integrated practice of language skills",
- その他 文部科学省英語教員研修講師、2003年4月

水田聖一

- 論文 「ロバート・オウエンの福祉思想 - 教育による福祉社会の建設」(『湊川女子短期大学紀要』第33号、1999年10月)
- 「優秀教師の条件を問う---日米比較の観点から」(『教職研修』教育開発研究所、1999年1月、『アメリカ教育学会紀要』第12号、1999年に再録)
- 「M.J.アドラーにおける知的陶冶論に関する考察 - パイディア・スクールの基礎論としての知性の問題 - 」(『湊川女子短期大学幼児教育研究室紀要』第3集、1999年11月)
- 「パイディア・スクールにおける社会科教育の理論と実践に関する考察」(『湊川女子短期大学幼児教育研究室紀要』第3集、1999年11月)
- 「アメリカにおける保育・教育機関と家庭との統合の動き - 乳幼児の保育・教育：園舎の境界を越えて」(『湊川女子短期大学幼児教育研究室紀要』第4集、2000年6月)
- 「シュプランガーの道徳教育思想」(『湊川女子短期大学紀要』第34号、2000年12月)
- 「急がされる子どもたち - ストレスとなる家庭、学校、社会」(『湊川女子短期大学紀要』第34号、2000年12月)
- 「近代日本における教育制度の形成と道徳教育」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)

- 著書 『新現代教育原理』(共著 学文社、1999年)  
 『教師論・保育者論 - 子育て文化の継承と再発見』(編著 三晃書房、2000年)  
 学会発表 「M.J.アドラーにおける知的陶冶論に関する考察」(アメリカ教育学会第11回大会 奈良教育大学、1999年9月)

望月健一

- 論文 「アポロ賛歌としての『エウガネイの丘にて詠める詩行』」(『富山女子短期大学紀要』第34輯、1999年3月)  
 「『エピサイキディオソ』に見られる愛の哲学(1)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
 「死への旅立ち - ディラン・トマスの誕生日の詩 - (1)」(日本現代英米詩学会『ジャパン・ポエトリ・レビュー』7号、2001年3月)  
 「『エピサイキディオソ』に見られる愛の哲学(2)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第2巻、2002年3月)  
 「死への旅立ち - ディラン・トマスの誕生日の詩 - (2)」(日本現代英米詩学会『ジャパン・ポエトリ・レビュー』8号、2002年3月)  
 「ディラン・トマスの戦争詩(1)」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第3巻、2003年3月)  
 学会発表 「コンピュータを使った文法学習」(日本英文学会中部支部大会 富山大学 1999年10月25日)  
 「カリブ海、イースト川、ベル・アイル - ハート・クレインの詩の世界」(日本現代英米詩学会大会 札幌大学 2003年6月28日)

横井敏秀

- 論文 「デュルケームの 遊び 観」(『富山国際大学紀要』第10巻、2000年3月)  
 「デュルケームにおける循環的変動観の形成」(『日仏社会学会年報』10号、2000年10月)  
 「デュルケームにおける革新期認識の一断面 ルネサンス論を中心として」(富山国際大学『人文社会学部紀要』第1巻、2001年3月)  
 「デュルケームにおけるフランスの国民的アイデンティティの問題」(『日仏社会学会年報』第13号、2003年12月)